

平成 31 年 3 月 8 日

公益社団法人日本ボート協会

強化委員会

2019 年日本代表最終選考における 「アスリートレーンセクション」制度について

2019 年 3 月 11 日(月)・12 日(火)に実施されます U19 日本代表最終選考レース（タイムトライアルを除く）及び 3 月 22 日(金)から 24 日(日)に開催されます U23・シニア日本代表最終選考レースにおいて、選手によるレーン選択制度「アスリートレーンセクション」を導入します。

1. レースコンディションなどを考慮し、自身の航行レーンを選手が選択します。
2. そのレースにおける「レーン選択優先順位」は、その以前のレースにおいてランクの高い選手から優先順位が高くなります。
3. ただし、そのレースにおいて、※同じランクの選手が複数いる場合は、レースの 120 分前に戸田 NTC において、同じランクの選手どうしの優先順位を決定するドローを行います。
(※ そのレースに「予選 1 組の 1 位の選手」と「予選 2 組の 1 位の選手」などがある場合)
4. 選手はスタート地点の審判員に対し、レース発艇 10 分前に、そのレースの「レーン選択優先順位」の高い選手から速やかにレーンを選択し、発艇員(スタート審判)に「所属・氏名・(選択する)レーン」を申告し、自己が選択したレーンに入ります。その後、次の「レーン選択優先順位」の選手が速やかに同様に選択・申告し、選択したレーンに入ります。

3月11日(月)・12日(火)のU19日本代表選考レースにおける対応

(1)各決勝レース(決勝A・B・C・D)の120分前(2時間前)に戸田NTCトレーニング室に来てください。同じランクの選手どうしの「レーン選択優先順位」を決定するドローを行います。ドローには必ず選手本人が来てください。

- 1)決勝A:「予選1組・2組・3組それぞれの1位選手(同ランクの選手)3名」によるドロー。3艇レースの場合、レースは原則「3・4・5レーン」から選択。
- 2)決勝B:「敗復1~3組それぞれの1位選手3名」によるドロー。それに続いて「敗復2位選手3名」によるドロー。
- 3)決勝C:「敗復3位選手3名」によるドロー。それに続いて「敗復4位選手3名」によるドロー。
- 4)決勝D:「敗復5位選手3名」によるドロー。3艇レースの場合、レースは原則「3・4・5レーン」から選択。

(2)レース2時間前に戸田NTCにてドローを行う必要があるレースは決勝A~Dのみです。したがって、予選・敗者復活戦前は、ドローを行いませんので戸田NTCトレーニング室へ来ていただく必要はありません。

以下をご確認下さい。

- 1)【予選】3月11日(月)午後の予選は、事前の2000mタイムトライアルのタイムにより「レーン選択優先順位」は確定しています。(一つのレースに「同ランクの選手」がいません。)したがって、予選2時間前のドローは行わず、レース発艇10分前に、そのレースの「レーン選択優先順位」の高い選手からレーンを選択・申告し、自己が選択したレーンに入ってください。
- 2)【敗者復活戦】3月12日(火)午前の敗者復活戦においても、事前の「予選レースの着順」により「レーン選択の優先順位」は確定しています。したがって、予選と同様に、敗者復活戦2時間前のドローは行わず、レース発艇10分前に、そのレースの「レーン選択優先順位」の高い選手からレーンを選択・申告し、自己が選択したレーンに入ってください。5艇レースの場合、レースは原則「2・3・4・5・6レーン」から選択。

以上